



精神科医  
瀬戸 睿みとし

今、日本は本質的なところを問われている。

先の戦争で朝鮮、中国等へ侵略し、多くの人々を虐殺した日本の罪と、非戦闘員である女性、子供、老人を空襲と原爆で何百万人も殺したアメリカを糾弾しない罪である。しかし、今はその罪を償うときではある。

国民自らが勝ち取った民主主義ではないし、憲法ではないが、その内容

は貴重なものである。

今問われているのは、自らの罪を認め謝罪し続けることとアメリカの帝国主義的世界戦略に抗することである。具体的には、日本国憲法第九条を守ること（他国民への謝罪につながる）と日米安保条約の破棄（アメリカの戦争への非協力）である。

憲法九条を高く掲げ、国連に打って出て、全世界に戦争放棄を訴えることをすべきであろう。そうすれば、日本を責めてくる国はないし、世界の平和に大きく貢献するこ

とになるであろう。自衛隊は、災害救助隊に変更し、世界の災害にいつでも飛んでいけるようにすればいい。

果たして、これは私の夢物語か？ しかし、これが実現すれば、日本国民は世界から愛されると思うのだが…。

診察室の窓から夏の際立った青い空と白い入道雲を見ながら夢想している。

心の悩みを募集します

お寄せ頂いたお悩みを紙面で紹介し（匿名とします）、アドバイスいたします。

〒343-0845 越谷市南越谷1-4-53-103号 東武朝日編集部「心の悩み」係  
または FAX 048-985-12927  
まで。

